

# 図書館だより

vol.19

春

2021.4 市立米沢図書館

伝国の杜・ナセBA 連携企画  
青少年・こどもの「まなび」応援  
図書館利用者カード割引

小～大学生の方は、市立米沢図書館の利用者カードを米沢市上杉博物館で提示すると、常設展・企画展とも入館料が割引になります（団体割引適用）。

展覧会情報は、米沢市上杉博物館のホームページをご覧ください。  
http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp



◆開館時間  
[平日]  
4月～9月 10:00～20:00  
10月～3月 10:00～19:00  
[土・日・祝日] 9:00～19:00

◆休館日  
毎月第4木曜日  
年末年始(12月29日～1月3日)  
蔵書点検期間  
施設点検日

◆貸出数・貸出期間  
図書・雑誌 10点まで 14日間  
DVD・CD 3点まで 7日間

〒992-0045  
山形県米沢市中央1丁目10番6号  
(ナセBA 2階)  
TEL: 0238-26-3010  
FAX: 0238-26-3012  
Mail: tosyokan@library.yonezawa.yamagata.jp  
URL: http://www.library.yonezawa.yamagata.jp/  
Twitter: @yonezawalibrary



カレンダーマーク  
のご案内

ブックスタート

先人顕彰コーナー  
「吾妻健三郎と大橋乙羽」(～7/21迄)

## 今後のスケジュール予定



自動車文庫車「アタゴオル」は、約3,500冊の  
図書を積んで市内約70ヶ所を巡回しています。  
図書館と同じように本の貸出ができますので、  
ぜひご利用ください。  
※巡回場所と時間は図書館HPをご覧ください。

### 4月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22[休館日] ウッディ コンサート	23	24 英語多読 サロン	25
26	27	28	29	30		

### 5月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8 読書会	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22 英語多読 サロン	23
24 31	25	26	27[休館日]	28	29	30

### 6月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8[休館日]	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20 英語多読 サロン
21	22	23	24[休館日]	25	26	27
28	29	30				

## \* 図書館の感染症対策について \*

当館では、米沢市の方針および日本図書館協会が公表するガイドラインに沿って、次のような対策に取り組んでいます。  
※最新の情報は当館HPやTwitterをご覧ください。

### 【消毒の実施】

・椅子の手すり、パソコン、ブックカート等共用物品の定期的な消毒。返却資料については、表面のふき取りを行っています。

### 【密集・密接の防止】

・椅子、机は数を減らし、間隔を空けて設置。

窓際の閲覧席とパソコン使用優先席をご利用の際は、カウンターで「受付カード」をお渡しし3時間程度のご利用をお願いしています。

・カウンターに飛沫防止シートを設置。

職員のマスク着用。

### ～来館者の皆さまへご協力をお願い～

・ナセBA入口に検温器を設置しています。体温測定にご協力ください。

・マスク着用と手指消毒（または石けんでの丁寧な手洗い）にご協力ください。

※どうしてもマスクの着用ができない方には、他の利用者に分かるように「ネーム」をお渡ししています。



1月、米沢工業高校の生徒の皆さんが制作した「足踏み式除菌スタンド」をご寄贈いただきました。

## \* 先人顕彰コーナー \*

◆「資料紹介：清水彦介資料」◆ 会期：2021年3月26日(金)～5月26日(水)  
会場：ナセBA 中二階 先人顕彰コーナー(多目的展示室)

当館には明治42年(1909)の開館当初より収集してきた米沢の貴重な資料が多数収蔵しています。今回はその中より、清水彦介資料を紹介します。清水彦介(1821～1895)は藩士五十騎組の家柄に生まれ、明治維新後の明治13年(1880)には「米沢新聞」の発行人の一人として名を連ねる等、自由民権運動に従事します。また白子神社の神官としても知られた人物です。

清水の「米沢文庫設立案」では諸外国の書籍館の例を引き、文庫(図書館)の必要性を唱え、それが後に「財団法人米沢図書館」の設立に繋がりました。今年度は清水の生誕200年の節目でもあり、ナセBA開館5周年でもあります。これを機に、当館に残る清水彦介収集資料や当館資料群より清水の業績を回顧する展示を企画します。

◆ナセBA開館5周年記念「吾妻健三郎と大橋乙羽—2人の明治編集者—」◆

展示期間：2021年5月28日(金)～7月21日(水)  
展示場所：ナセBA 中二階 先人顕彰コーナー(多目的展示室)

米沢出身の2人の編集者、吾妻健三郎(1856～1912)と大橋乙羽(1869～1901)。吾妻は日本橋に出版社「東陽堂」を開き、明治期の印刷技術向上に貢献した人物です。その吾妻に見いだされ、後に博文館の大橋佐平の婿養子となり、編集者として頭角をあらわしたのが大橋乙羽です。近年は「最初の編集者」や「樋口一葉を世に出した男」とも評されています。

また当館との関わりも深く、明治の開館当初に博文館より書籍726冊の寄贈を受けています。今回、ナセBA開館5周年記念として2人の功績を紹介する展示を行います。ぜひこの機会に明治期に活躍した米沢出身の2人の編集者の業績をご覧ください。

◎講演会「吾妻健三郎と大橋乙羽—明治期2人の編集者—」

日時：2021年5月30日(日) 14:00～15:30 場所：ナセBA 1F 体験学習室 募集：20名(一般)  
講師：千葉正昭先生(元米沢女子短期大学教授、日本近代文学)

感染症拡大防止のため中止しているイベントの再開時期や最新情報は、HPやTwitterをご覧ください。

# ナセBA

市立米沢図書館 Book & Art よねざわ市民ギャラリー

【図書館では、下記のマナーを守ってご利用下さい】※キャップ付飲料は持込可



## 新着 一般書 おすすめ本



タイトル：新人のための『仕事のミスゼロ』チェックリスト 50  
著者：藤井 美保代 ビジネスプラスサポート//監修 出版社：同文館出版 分類：336.5

新人だから「ミスをして当たり前」？メモを取る習慣、ダブルチェックの効果的な方法、割り込み仕事のコントロール法、電話対応の聞き間違いをなくすことで身に着けられる、「気づく力」「段取り力」「コミュニケーション」「顧客対応」などを紹介しています。現役社会人の方にもおすすめです。

タイトル：強いからだを作る!重ねて煮るだけ子どものお弁当 3~5歳

著者：田島 恵 出版社：世界文化社 分類：596.4

不調に負けない子に育ててほしい、「かわいい」より「からだにいい」お弁当を作ってあげたい、野菜不足が心配…等々。ママ・パパのそんな思いをかなえる本です。切って、重ねて、煮るだけの「重ね煮」なので、調理はかんたん！子どものからだを整えるお弁当レシピを紹介しています。



タイトル：幕間のモノローグ  
著者：長岡 弘樹 出版社：PHP 研究所 分類：913.6

ドラマや映画の撮影中、舞台の演技中に起こるさまざまな事件やトラブルを鮮やかに解決するベテラン俳優の南雲。彼にはなぜ真実が見えたのか。そこにはある秘密が隠されていた。『教場』の著者が、芸能界に生きるものたちの“業”を描いた連作短編ミステリーです。

タイトル：上杉鷹山「富国安民」の政治

著者：小関悠一郎 出版社：岩波書店 分類：新書 212.5

近年、強いリーダーシップを発揮し、困窮する米沢藩を救済した人物像が確立しつつある上杉鷹山。在世から「明君（名君）」と言われ、藩政改革を推し進めた鷹山が目指した政治理想とは何だったのか。「富国安民」を鍵に鷹山の研究の第一人者である著者が丹念に紐解きます。



新着  
郷土  
おすすめ本

## 新着 児童書 おすすめ本

タイトル：バラバラピタッ！  
さく：コンノ ユキミ 出版社：講談社 ぶんるい：ブックスタート 91

たくさん遊んだあとは、クレヨンやつみき、えほんがちらばっています。きれいにならべて「ピタッ」とおかたづけ。ちらばったかみくずは…どうする？おかたづけすると気持ちいいことを、お子さんがたのしめる「あなあきしかけえほん」で教えてあげましょう。



タイトル：はりねずみのおいしゃさんとおばけのこ  
さく：ふくざわ ゆみこ 出版社：世界文化ワンダークリエイト ぶんるい：えほん もも 91

はりねずみ先生が森を歩いていると、はずかしがりやの白い布をかぶった“おばけのこ”に会いました。そんな“おばけのこ”の家には、てづくりの木のおもちゃがたくさん。そのすてきな木のおもちゃと森のなかまたちとの心あたたまるお話です。そして、おばけのこの正体は？



タイトル：たまごのはなし  
さく：しおたに まみこ 出版社：プロンズ新社 ぶんるい：よみもの 91

ある日とつぜん目をさました“たまご”。何とも言えない目鼻口の顔に、ほそくて長い手足。“たまご”は、はじめて歩き、はじめて話します。マシュマロに出会い、いっしょにキッチンのおり、探検に出かけます。ふしぎでもおもしろい“たまご”の3つのお話です。



タイトル：中高生のための本の読み方 読書案内・ブックトーク・PISA 型読解  
著者：大橋 崇行 出版社：ひつじ書房 ぶんるい：ティーンズコーナー 019.5

中高生に向けて、小説から解説書、マンガまで、本の読みどころや読むときに有効となる視点などをブックトークの形式で紹介する一冊です。また書き下ろし部分では、さまざまな読書会・ブックトークの進め方についても解説しています。



### \* 実施しました \*

#### ナセBAうちどくスタンプラリー

期間：2020年11月27日(金)~2021年3月31日(水)

市内小学生を対象に、当館で本を借りてスタンプを集めた皆さんに景品をプレゼントするスタンプラリーを実施しました。

スタンプ2個で、本市出身のイラストレーター mizutama さん描き下ろしのしおりを1枚プレゼントしました。さらに、「本のしょうかいカード」を書いてくれた皆さんに、本市マスコットキャラクターかねたんたちとコラボしたクリアファイルをプレゼントしました。さらにさらに！これから抽選で20名の方に、1000円分の図書カードをプレゼントする予定です（当選者には4月中旬にハガキでお知らせします）。「本のしょうかいカード」は近日中に館内に展示しますので、お楽しみに！

#### \* 家読（うちどく）ってなに？ \*

「家庭での読書」や「家族ふれあい読書」のこと。「本のしょうかいカード」は、児童とおうちの人と同じ本を読み、それぞれに感想を書いてもらうものでした。スタンプラリーを通して、本の感想を話し合ったり、きょうだい皆で読んだりといった家読ならではのふれあいを楽しんだという声をいただきました。



イラストレーターmizutamaさんのイラスト入りオリジナルしおり



ナセBA オリジナルクリアファイル

### Q&A 質問箱

Q. 絵本や児童書（物語）の背に貼ってあるラベルの色は何を表しているのですか？ ※背…題名などが書いてある本をとじている部分のこと。

91  
ア ココ  
12

A. 対象年齢を表しています。ピンクは幼児向け、黄は小学校低学年向け、緑は小学校中・高学年向け、青は中学生・高校生向けです。絵本は対象年齢別に棚も分けています。児童書は主に著者名順に分けているので、対象年齢に合った本を探す時は背ラベルの色を参考にしてください。

### 貸出ランキング TOP5

[2021.3.14 調べ] ※ランキングは常時変動します。

#### 一般 [文学一般・日本文学]

- 少年と犬 馳 星周 著
- 希望の糸 東野 圭吾 著
- 半沢直樹 アルルカンと道化師 池井戸 潤 著
- 夜明けのすべて 瀬尾まいこ 著
- 推し、燃ゆ 宇佐見りん 著

#### 児童 [子どもの本]

- アンパンマンとカラコちゃん やなせたかし 著 さく・え
- アンパンマンとバナナダンス やなせたかし 著 さく・え
- 渋沢栄一 日本経済の父とよばれた男 老川 慶喜 監修
- おしりたんてい むらさきふじんのあんごうじけん トロル 著 さく・え

### 米沢市以外の置賜地域にも 読書通帳を 発行します！

今年度から、読書通帳の配布対象が広がります。読書通帳とは、預金通帳のようなかたちをした、貸出履歴が記録できる小冊子のことです。本物の通帳のように、貸出中の資料の記録が読書通帳に印字されます。新館開館と同時にサービスを開始した読書通帳は、これまでたくさんの方に好評をいただいておりますが、このたび、さらに多くの方が利用できるようになりました。新しい配布対象者は下記の通りです。

【配布対象（令和3年4月～）】

- 置賜地域（米沢市・長井市・南陽市・高畠町・川西町・白鷹町・飯豊町・小国町）にお住まいの乳幼児と小中高生 ※これまでは「米沢市内にお住まいの乳幼児と小中高生」となっていました。
- 米沢市内の高等学校に通学されている方

なお、読書通帳の発行は無料ですが、当館の利用者登録が必要となります。詳しくは窓口までお問合せください。皆さまのご利用をお待ちしています。



読書通帳（米沢市出身のまんがが家・ますむらひろし先生のイラストがあしらわれたデザインです）